

# 令和 7(2025)年度授業評価アンケート

授業評価アンケートは、FD 活動の一環として、前期・後期各期において、学生による授業評価アンケートを実施し、その結果を教員が授業の改善工夫に生かすとともに、所見を回答することにより、学生へのフィードバックを行っています。

この取り組みは、学生による授業評価アンケートに示された学生からの率直な意見や評価を個々の教員がまずは謙虚に受けとめるという姿勢が基本となり、その上で、より良い授業を目指して行こうという全教員の熱意によって支えられています。

## 1. 授業評価アンケート実施状況

### 【前期】

(1)実施期間：令和 7 (2025) 年 7 月 9 日 (水) ～7 月 29 日 (火)

(2)調査方式：紙方式 (マークシート)

講義・演習科目 設問 18 問 (選択式)、自由記述 1 問

実験・実習科目 設問 20 問 (選択式)、自由記述 1 問

※オムニバス科目は各科目で 1 つのアンケートとし、設問項目「担当教員の授業に対する姿勢」を除いて実施。「授業の目標や到達目標、成績評価についての確認」「学生自身の授業に対する態度」「総合評価」「授業改善の提案と教員へのメッセージ」を回答。

\* 講義・演習科目は設問 7～17 を除いて回答

\* 実験・実習科目は設問 8～19 を除いて回答

(3)実施対象科目：全科目 (ゼミナール、総合演習 I・II、卒業研究・制作を除く)

講義・演習 健康栄養学部 98 科目 (管理栄養学科 49 科目 食品学科 49 科目)

実験・実習 健康栄養学部 21 科目 (管理栄養学科 10 科目 食品学科 11 科目)

(4)回答率：

講義・演習 履修者数：4,138 回答者数：3,413 回答率：82.48%

管理栄養学科：2,594 回答者数：2,121 回答率：81.77%

食品学科：1,544 回答者数：1,292 回答率：83.68%

実験・実習 履修者数：1,036 回答者数：896 回答率：86.49%

管理栄養学科：618 回答者数：533 回答率：86.25%

食品学科：418 回答者数：363 回答率：86.84%

### 【後期】

(1)実施期間：令和 8 (2026) 年 1 月 13 日 (火) ～2 月 2 日 (月)

(2)調査方式：紙方式 (マークシート)

前期と同様方式

(3)実施対象科目：全科目 (ゼミナール、総合演習 I・II、卒業研究・制作を除く)

講義・演習 健康栄養学部 89 科目 (管理栄養学科 48 科目 食品学科 41 科目)

実験・実習 健康栄養学部 27 科目 (管理栄養学科 16 科目 食品学科 11 科目)

(4)回答率：

講義・演習 履修者数：3,021 回答者数：2,466 回答率：81.63%

管理栄養学科：1,871 回答者数：1,550 回答率：82.84%

食品学科：1,150 回答者数：916 回答率：79.65%

実験・実習 履修者数：1,254 回答者数：1,077 回答率：85.89%

管理栄養学科：888 回答者数：778 回答率：87.61%

食品学科：366 回答者数：299 回答率：81.69%

## 2.授業評価アンケート設問内容（前期・後期共通）

### (1) 講義・演習科目

＜授業の目的や到達目標、成績評価についての確認＞	
設問 1	授業のテーマや目的は、毎回の授業展開の中で明確であった。
設問 2	教員は成績評価の基準を示した。
＜学生自身の授業に対する姿勢＞	
設問 3	あなた自身、積極的に授業に参加した。
設問 4	あなたは、この授業の目的や到達目標を明確に理解していた。
設問 5	この授業を受けたことで知識や技術が得られた。
設問 6	必要な準備（予習・復習）をして授業に臨んだ。
＜担当教員の授業に対する姿勢＞	
設問 7	内容を解りやすく伝えようとする意欲・工夫などが感じられた
設問 8	教員の話し方は明瞭でわかりやすかった。
設問 9	授業の始めに、前回の学習内容の復習がなされている。
設問 10	授業内容に関連する興味を高める手法（著書、論文、データの紹介など）があった。
設問 11	この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた。
設問 12	教員は学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた。
設問 13	板書、視聴覚教材、配布資料などの使い方が効果的であった。
設問 14	教員は私語の注意、入退室の注意など、授業環境のコントロールができていた。
設問 15	授業の進捗と分量は適切であった。
設問 16	授業内容は各週の授業計画（項目・内容）に沿って進行していた。
設問 17	この授業の開始時間、終了時間は適切だった。
＜総合評価＞	
設問 18	総合的に評価して、満足できる授業であった。
＜自由記述＞ 授業をさらに良くするための提案、担当教員に対してご意見などがあれば具体的に記入してください。	

### (2) 実験・実習科目

＜授業の目的や到達目標、成績評価についての確認＞	
設問 1	授業のテーマや目的は、毎回の授業展開の中で明確であった。
設問 2	教員は成績評価の基準を示した。
＜学生自身の授業に対する姿勢＞	
設問 3	あなた自身、積極的に授業に参加した。
設問 4	あなたは、この授業の目的や到達目標を明確に理解していた。
設問 5	この授業を受けたことで知識や技術が得られた。
設問 6	必要な準備（予習・復習）をして授業に臨んだ。
設問 7	この授業を受けて、関連する分野（講義・演習科目）の理解または関心が深まった。
＜担当教員の授業に対する姿勢＞	
設問 8	内容を解りやすく伝えようとする意欲・工夫などが感じられた
設問 9	教員の説明・指示・デモンストレーションはわかりやすかった。
設問 10	授業の始めに、前回の学習内容の復習がなされている。
設問 11	授業内容に関連する興味を高める手法（著書、論文、データの紹介など）があった。
設問 12	この授業では、学生が授業に積極的に取り組めるような工夫がなされていた。
設問 13	教員は学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた。
設問 14	板書、視聴覚教材、配布資料などの使い方が効果的であった。
設問 15	教員は私語の注意、入退室の注意など、授業環境のコントロールができていた。
設問 16	授業の進捗と分量は適切であった。
設問 17	授業内容は各週の授業計画（項目・内容）に沿って進行していた。
設問 18	この授業の開始時間、終了時間は適切だった。
設問 19	実験・実習がスムーズに進められるよう、材料や器具が十分準備されていた。
＜総合評価＞	
設問 20	総合的に評価して、満足できる授業であった。
＜自由記述＞ 授業をさらに良くするための提案、担当教員に対してご意見などがあれば具体的に記入してください。	

### 3. 本学アセスメントポリシー評価レベルの確認（教育課程レベル）

#### 授業評価アンケート分野別平均の推移状況

授業評価アンケートは、本学アセスメントポリシーの教育課程レベル（学部・学科ごと）、科目レベル（科目ごと）において、評価レベルと位置付けています。

教育課程レベル（学部・学科ごと）の調査・分析として、学生の取組分野、教員の取組分野、授業の成果分野、総合評価の平均における推移状況から確認しています。

#### (1) 評定尺度と集計数値

①各設問の評定尺度は、5段階〔強く思う、そう思う、どちらとも言えない、そう思わない、全く思わない〕とし、集計数値は、「強く思う」を5、「そう思う」を4、「どちらとも言えない」を3、「そう思わない」を2、「全く思わない」を1とした。

ただし、設問6『必要な準備（予習・復習）をして授業に臨んだ。』の評定尺度は、4段階〔十分行った、ある程度行った、あまり行っていない、全く行っていない〕であり、集計数値は「十分行った」を5、「ある程度行った」を4、「あまり行っていない」を2、「全く行っていない」を1とした。

②評定尺度平均値は、各設問での無回答及び読み取り不可回答を除いて算出した。

③学生の取組分野、教員の取組分野、授業の成果分野の設問は、次の通りです。

- ・講義・演習科目は、学生の取組分野「設問4、6の平均値」、教員の取組分野「設問1、2、7～17の平均値」、授業の成果分野「設問3、5の平均値」、総合評価「設問18の数値」。
- ・実験・実習科目は、学生の取組分野「設問4、6の平均値」、教員の取組分野「設問1、2、8～19の平均値」、授業の成果「設問3、5、7の平均値」、総合評価「設問20の数値」。

#### (2) 集計結果「授業評価アンケート分野別平均の推移状況」

授業評価アンケート分野別平均（学生の取組分野、教員の取組分野、授業の成果分野、総合評価との関係）における平成30(2018)～令和7(2025)年度（2020、2021年度は除く）推移状況結果は、管理栄養学科【表3-1、図3-1～図3-2】、食品学科【表3-2、図3-3～図3-4】の通りです。

授業評価アンケート分野別平均における2018～2025年度推移状況結果から、本学のFD活動〔教科打合せ会、授業公開（教員相互の授業参観）、FD研修会等〕は、機能していると判断しています。

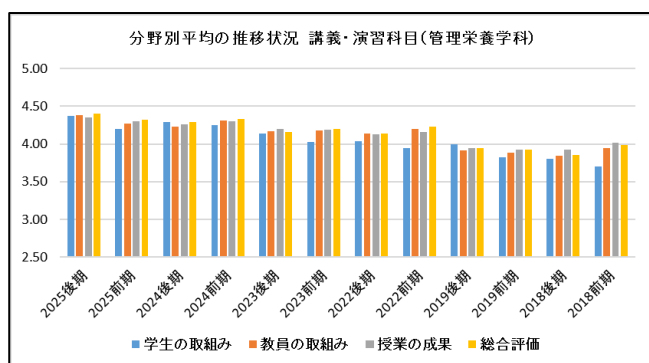
大学は多様化した学生を対象に教育を行うことが求められています。本学FD研修会では、令和4(2022)年度「大学における合理的配慮について」、令和5(2023)年度「合理的配慮が必要な学生への対応」、令和6(2024)年度「カウンセラーとの連携において、教員が何をすべきか」、令和7(2025)年度「退学者率の抑止に向けて教員として何ができるか、すべきか」をテーマとし、各々の教員が研鑽を積むことに努めています。

なお、令和2(2020)、令和3(2021)年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による対面授業からオンライン授業に切り替えました。そのため、授業評価アンケートに替わるオンライン授業用アンケートを実施し、設問内容も変更していることから、推移状況の比較対象としていません。令和2(2020)、令和3(2021)年度の結果は、最終ページに記載した参考資料の通りでした。

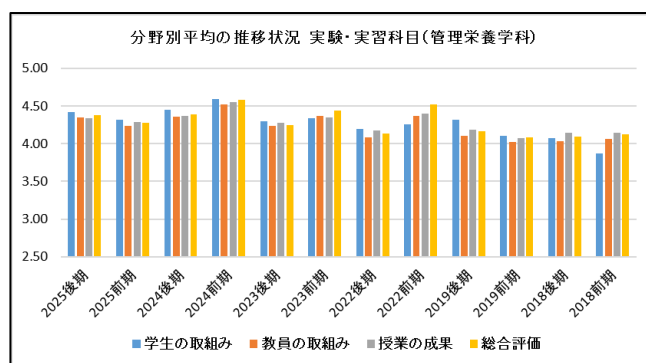
【表 3-1】 授業評価アンケート分野別平均の推移状況 (管理栄養学科)

		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
講義・演習科目	2025 後期	4.37	4.39	4.36	4.40
	2025 前期	4.20	4.27	4.30	4.32
	2024 後期	4.29	4.23	4.27	4.29
	2024 前期	4.26	4.31	4.31	4.33
	2023 後期	4.14	4.17	4.20	4.16
	2023 前期	4.03	4.18	4.19	4.20
	2022 後期	4.04	4.14	4.13	4.14
	2022 前期	3.95	4.20	4.16	4.23
	2019 後期	4.00	3.92	3.95	3.95
	2019 前期	3.82	3.89	3.93	3.93
	2018 後期	3.80	3.85	3.93	3.85
2018 前期	3.70	3.95	4.02	3.99	
		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
実験・実習科目	2025 後期	4.42	4.34	4.34	4.38
	2025 前期	4.32	4.24	4.29	4.28
	2024 後期	4.45	4.35	4.37	4.39
	2024 前期	4.59	4.52	4.55	4.58
	2023 後期	4.30	4.24	4.28	4.25
	2023 前期	4.34	4.37	4.35	4.44
	2022 後期	4.20	4.09	4.17	4.13
	2022 前期	4.26	4.37	4.40	4.52
	2019 後期	4.32	4.10	4.18	4.16
	2019 前期	4.11	4.02	4.07	4.08
	2018 後期	4.07	4.03	4.15	4.09
2018 前期	3.87	4.06	4.14	4.12	

【図 3-1】 分野別平均の推移状況  
講義・演習科目 (管理栄養学科)



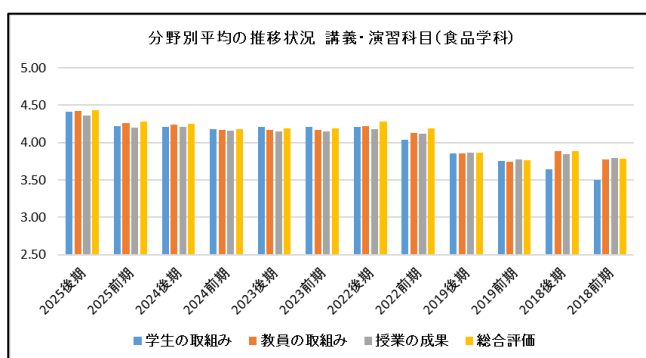
【図 3-2】 分野別平均の推移状況  
実験・実習科目 (管理栄養学科)



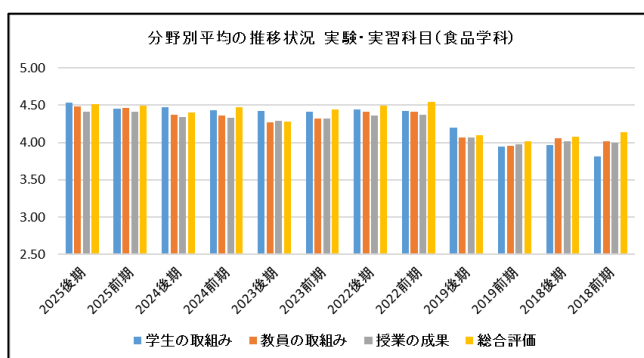
【表 3-2】 授業評価アンケート分野別平均の推移状況（食品学科）

		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
講義・演習科目	2025 後期	4.41	4.43	4.36	4.43
	2025 前期	4.22	4.26	4.20	4.28
	2024 後期	4.21	4.24	4.21	4.25
	2024 前期	4.18	4.17	4.16	4.18
	2023 後期	4.21	4.17	4.15	4.19
	2023 前期	4.21	4.17	4.15	4.19
	2022 後期	4.21	4.22	4.18	4.28
	2022 前期	4.04	4.13	4.12	4.19
	2019 後期	3.86	3.86	3.87	3.87
	2019 前期	3.76	3.74	3.77	3.76
	2018 後期	3.65	3.88	3.85	3.89
2018 前期	3.50	3.78	3.79	3.78	
		学生の取組み	教員の取組み	授業の成果	総合評価
実験・実習科目	2025 後期	4.53	4.48	4.42	4.51
	2025 前期	4.45	4.46	4.41	4.49
	2024 後期	4.47	4.37	4.34	4.40
	2024 前期	4.44	4.36	4.33	4.47
	2023 後期	4.42	4.27	4.29	4.28
	2023 前期	4.42	4.32	4.32	4.44
	2022 後期	4.44	4.41	4.36	4.49
	2022 前期	4.42	4.41	4.37	4.54
	2019 後期	4.20	4.06	4.06	4.10
	2019 前期	3.95	3.96	3.97	4.02
	2018 後期	3.97	4.06	4.02	4.08
	2018 前期	3.81	4.02	4.00	4.14

【図 3-3】 分野別平均の推移状況  
講義・演習科目（食品学科）



【図 3-4】 分野別平均の推移状況  
実験・実習科目（食品学科）



#### 4. 本学アセスメントポリシー評価レベルの確認（科目レベル）

##### 授業評価アンケート結果の学生へのフィードバック状況と各科目における総合評価の平均点の推移状況

授業評価アンケートは、本学アセスメントポリシーの教育課程レベル（学部・学科ごと）、科目レベル（科目ごと）において、評価レベルと位置付けています。科目レベル（科目ごと）の調査・分析として、授業評価アンケート結果のフィードバックと各科目における総合評価の平均点の推移状況から確認しています。

##### (1) 各教員（専任・非常勤）の学生へのフィードバック状況

授業評価アンケート結果の学生へのフィードバックは、学生ファイルサーバで行っており、学生の閲覧権限は設けていないため全科目を確認することができる。

各科目の授業評価結果に対する担当者の所見のフィードバック状況は、次の通りであるため、引き続きフィードバックを促している。

<前期>	常勤教員：22/27	81.5%	非常勤教員：22/22	100.0%
<後期>	常勤教員：18/26	69.2%	非常勤教員：17/20	85.0%

##### (2) 各科目における総合評価の平均点の推移状況

講義・演習科目、実験・実習科目の推移状況は、表 4-1～表 4-4、図 4-1～4-4 の通りである。グラフは、当該年度授業形態別の科目合計数に対して、凡例に記す平均点の範囲に該当する科目数の割合を示している。調査結果としては、次の点を挙げられる。

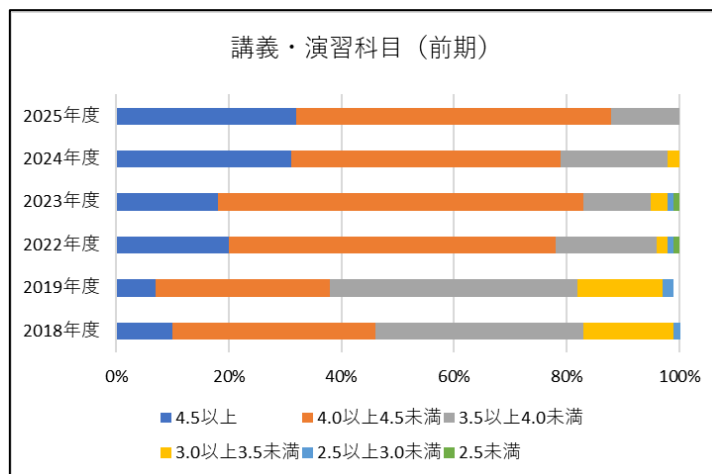
- ◆2020 年度カリキュラムの改正により、各科目の総合評価が顕著に高い傾向が見られ、2025 年度まで維持されている。
- ◆講義・演習科目では、2025 年度前期・後期の何れも総合評価 4.5 以上の科目が増えている。
- ◆実験・実習科目では、2022 年度から 2025 年度の 3 年間、総合評価 3.5 未満の科目がない。

上記(1)と(2)の結果、各授業運営は総じて適正に行われていると判断しています。

【表 4-1】総合評価の平均点の推移状況 講義・演習科目（前期）

	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.5以上	10	7	20	17	29	31
4.0以上4.5未満	36	31	57	61	46	55
3.5以上4.0未満	37	44	18	11	18	12
3.0以上3.5未満	16	15	2	3	2	0
2.5以上3.0未満	2	2	1	1	0	0
2.5未満	0	0	1	1	0	0
科目合計数	101	99	99	94	95	98

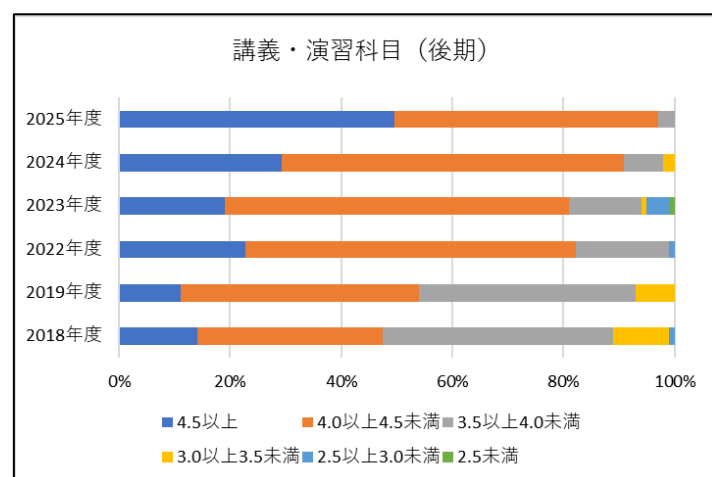
【図 4-1】総合評価の平均点の推移状況 講義・演習科目（前期）



【表 4-2】総合評価の平均点の推移状況 講義・演習科目（後期）

	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.5以上	12	9	19	16	25	44
4.0以上4.5未満	29	36	50	52	52	42
3.5以上4.0未満	36	33	14	11	6	3
3.0以上3.5未満	9	6	0	1	2	0
2.5以上3.0未満	1	0	1	3	0	0
2.5未満	0	0	0	1	0	0
科目合計数	87	84	84	84	85	89

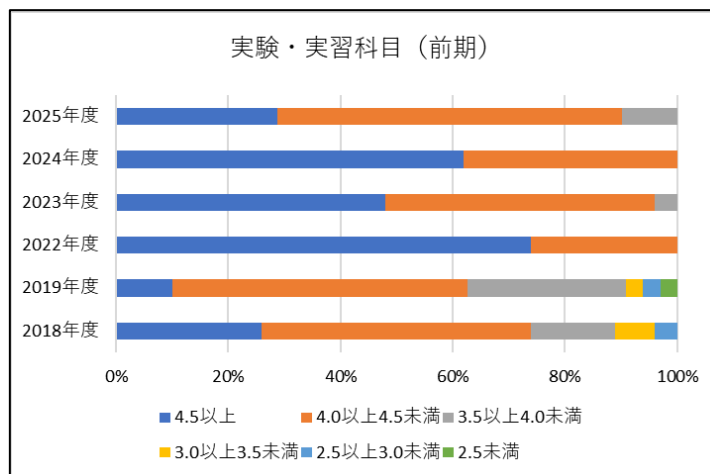
【図 4-2】総合評価の平均点の推移状況 講義・演習科目（後期）



【表 4-3】総合評価の平均点の推移状況 実験・実習科目（前期）

	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.5以上	7	3	17	11	13	6
4.0以上4.5未満	13	15	6	11	8	13
3.5以上4.0未満	4	8	0	1	0	2
3.0以上3.5未満	2	1	0	0	0	0
2.5以上3.0未満	1	1	0	0	0	0
2.5未満	0	1	0	0	0	0
科目合計数	27	29	23	23	21	21

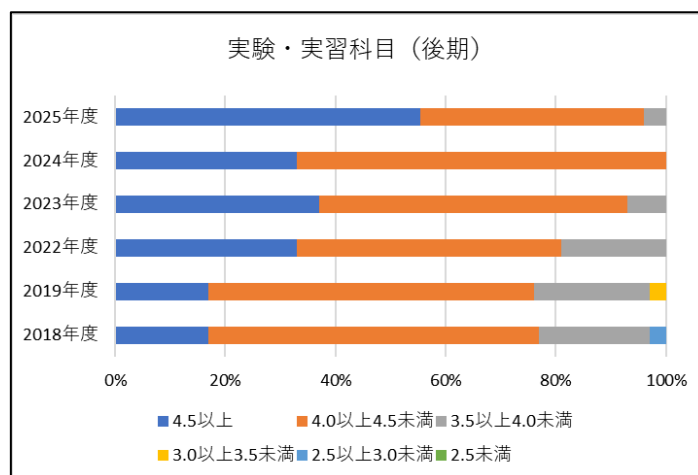
【図 4-3】総合評価の平均点の推移状況【実験・実習科目（前期）】



【表 4-4】総合評価の平均点の推移状況 実験・実習科目（後期）

	2018年度	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.5以上	5	5	9	10	9	15
4.0以上4.5未満	18	17	13	15	18	11
3.5以上4.0未満	6	6	5	2	0	1
3.0以上3.5未満	0	1	0	0	0	0
2.5以上3.0未満	1	0	0	0	0	0
2.5未満	0	0	0	0	0	0
科目合計数	30	29	27	27	27	27

【図 4-4】総合評価の平均点の推移状況【実験・実習科目（後期）】



=== 参考：2020、2021 年度オンライン授業用アンケート調査結果 ===

**【2020 年度の対応について】**

- ・2020 年度オンライン授業アンケートは学生の授業に対する満足度も含めて調査しており、「授業評価アンケート」に相当する。
- ・満足度の確認については、「満足している」「おおむね満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4段階で調査を行っている。このうち、肯定的な評価（満足している、おおむね満足しているの合計）は、前期オンライン授業は管理栄養学科 77.2%、食品学科 78.5%、全体 77.8%、後期オンライン授業は管理栄養学科 78.4%、食品学科 73.2%、全体 76.3%、後期対面授業は管理栄養学科 87.9%、食品学科 87.1%、全体 87.6%であった。

**【2021 年度の対応について】**

- ・2021 年度オンライン授業アンケートは学生の授業に対する満足度も含めて調査しており、「授業評価アンケート」に相当する。
- ・満足度の確認については、「満足している」「おおむね満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4段階で調査を行っている。このうち、肯定的な評価（満足している、おおむね満足しているの合計）は、前期オンライン授業は管理栄養学科 81.8%、食品学科 75.6%、全体 79.4%であり、前期対面授業は管理栄養学科 87.8%、食品学科 91.4%、全体 89.2%であった。後期オンライン授業は管理栄養学科 88.3%、食品学科 80.5%、全体 85.5%であり、後期対面授業は管理栄養学科 89.8%、食品学科は 89.0%、全体 89.5%であった。